

学園文化都市づくり

まちなちじゆうキャンパスを目指して



来年度、開学20周年を迎える吉備国際大学は、6学部12学科の総合大学に発展しました。

この吉備国際大学をはじめ、順正短期大学・順正高等看護専門学校を持つ学校法人高梁学園の在学者は、現在、約3400人。本市の人口の1割に当たり、このうち約6割の学生が市内に住んでいます。

今月号では、大学のさまざまな効果を取り上げ、今後の課題と新たな取り組みについて紹介します。

大学設置の経緯とこれまでの支援

昭和30年代からの高度経済成長期の都市部の飛躍的な発展に比べ、本市は地勢的条件等に恵まれないこともあり、社会的・経済的な地盤が相対的に低下。若い人を中心とした労働力の都市への流出、出生率の低下が主な要因で、人口の減少が続いてきました。

◆短大と専門学校が開学

こうした中、18世紀半ばごろには藩校ができるなど、歴史ある教育のまちとしての土壌を生かした地域の活性化を図るため、市は岡山市の学校法人加計学園に短期大学の設立を要請。昭和42年、学校法人高梁学園（以下、高梁学園）が創設され、順正短期大学・順正高等看護専門学校が開学しました。



高梁学園の学部・学科等

吉備国際大学 学部・学科一覧

学 部	学 科
社 会 学 部	国際社会学科
	ビジネスコミュニケーション学科
	スポーツ社会学科
保 健 科 学 部	看護学科
	理学療法学科
	作業療法学科
社会福祉学部	社会福祉学科
	健康スポーツ福祉学科 (4月からスポーツ社会学科に移行)
	子ども福祉学科
国際環境経営学部	環境経営学科
心 理 学 部	臨床心理学科
文 化 財 学 部	文化財修復国際協力学科

順正短期大学 学科・専攻一覧

学 科	専 攻
保 健 科	美容デザイン専攻
	メディカルビューティー専攻
	歯科衛生専攻
	健康福祉専攻
幼 児 教 育 科	幼児教育科
専 攻 科	幼児教育専攻

順正高等看護専門学校 課程と学科

課 程	学 科
専 門 課 程	看護学科

地方交付税の算定基礎項目に人口要件があり、5年ごとの国勢調査に基づく人口数で額が算定されています。国勢調査人口は、調査時に調査区域に居住している人すべてを対象で、住民登録していない人も含まれます。本市の場合、

また、国から交付される地方交付税や地方消費税交付金、地方税である市民税や固定資産税等の増収といった、市の財政に与える効果もあります。

00万円、学生や教職員の生活・居住にかかる消費640億8500万円、大学等学園の市内での直接消費4億600万円です。

こうした大学関係者が市にもたらした経済効果は、平成元年度から平成19年度までの19年間で738億5300万円と見られています。その内訳は、学生宿舍建設費（設備費を除く建物のみ）57億6200万円、

高梁学園の学生数に教職員の数を含めると、約3700人になります。

経済的な効果

とで、さまざまな経済的効果や社会的効果もたらされています。

さらに、学生も市内行事やイベントにボランティアとして参加するなど、各種団体・地域との交流も進んでいます。

また、大学教員も専門的知識を生かし、「情報化推進協議会」「介護認定審査会」など、市の各種審議会等の委員として市政の推進に参画しています。

市民の皆さんに学習機会を提供し、地域文化の向上や生涯学習の推進に大きな役割を果たしています。

地域に開かれた大学を目指す吉備国際大学は、開学以来、「公開講座」「文化講演会」の開催、また図書館の開放、パソコン研修など、

市で試算するこうした増収部分は、同じく19年間で36億9400万円となっています。

社会的な効果

住民登録せずに市内に居住する学生も多く、そのため、住民基本台帳人口よりも国勢調査人口の方が多くなっています。

さらに、四年制大学を誘致して若者があふれる学園文化都市をつくろうと市民運動が起こり、市は高梁学園に要請し、平成2年に吉備国際大学が開学しました。

〔公私協力方式で設置〕

昭和61年、市と高梁学園との間で、公私協力方式により大学を設置する「基本協定」が結ばれました。

私学の建学精神による人材育成と行政の求める地域振興を目的

大学のもたらす効果

一方、大学が市内に存在することに、市と学園が役割分担を定め、互いに協力して大学設置を行う内容で、以後、学部増設もこの協定に沿って進めてきました。

なお、これまでに（昭和63年度〜平成16年度）市が助成した吉備国際大学に対する補助金総額は約40億円（そのほか市が実施した市道などの関連公共工事、約16億6000万円）です。